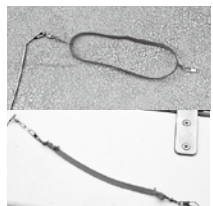


●Tackle Guide

ビギナーは扱いやすい2本バリ仕掛けがお勧め。また人数が多い日はどうしてもオマツリは避けられないので、仕掛けは多めに用意しておこう。



▲アジのバラシを軽減するため、クッションゴムに輪ゴムやゴムチューブを使う方もいる

ゲットし満面の笑顔。こんな大アジを手にはすればだれだって笑顔が弾けてしまう。右ミヨシの福井さんは迫力のダブル。定番ゲストのサバも黄色味を帯びており、実に



▲当日の釣り場は第二海堡周りの水深45メートル前後、タナは底から2メートル

▲アジのバラシを軽減するため、クッションゴムに輪ゴムやゴムチューブを使う方もいる

うまそうだ。右トモの常連山田さんは竿が大きく引き込まれ、何やらアジではなさそう。見えてきたのはマタイで、自らタモ取りしたのは1キロ級。それにしてもハリス2号、全長2メートルの仕掛けでよく切られなかったものだ。山田さんが使っているクッションゴムは幅6ミリの輪ゴム。「これがいんだよ。安いな。ガハハッ」とマタイを抱えて恵比須様の笑顔。常連さんの中にはゴムチューブで自作したクッションゴムを使用している方もいて、ベテランならではのこだわり

があるようだ。私も撮影の合間に竿を出させていただいた。アジ釣りはタナが基本。着底したら5メートルほど巻き上げ数秒待ち、仕掛けが手前に戻ってきたところで再着底させてタナを取り直す。

正確なタナ取りが大切

指示ダナは2メートルなので、コマセワークは1メートル上げたところまでひと振り、さらに1メートル上げたところでもうひと振りしてアタリを待った。クタクツと小さいアタリに続いてキュンツと竿先が入る。聞き上げるようにゆっくり竿を立てたところで電動巻き上げのスイッチオン。竿を脇に抱えて巻き上げるが、アジの引きこたえが思ったより強かった。無事取り込んだのは35センチ級のアジ。

泊してある赤いウイングラインが目引く1号船に乗船。各釣り座にはコマセと付けエサのアカタン、タオルがセットされており、私は右トモ3番の釣り座を案内される。総勢16名の釣り人が乗り込み、7時に出船。20分ほどで第二海堡北側の

本船航路周辺に到着。魚探で反応をサーチし、「はい、どうぞやってください。水深は45メートル。タナは底から2メートルです」とのアナウンスでスタート。一斉に投入するが道糸はまるで風揚げのようにトモ側に向かって流されていく。これではコマセが効いてくまで時間がかかるだろうと覚悟していたが、1投目から船内あちらこちらで電動リールの巻き上げ音が響き渡ってきた。



▲釣り座の間に人数分のタモが用意されている

1尾大事に巻き上げ釣果を重ねるようになった。常連さんとの雑談の中で、この船はこの場所で大アジを狙うためにライトをやらないのかと聞いてみたところ、「ライトも楽しいけど潮によって釣り場が限定されるからね。この船長はうまいアジを狙うとは言けど、大型を狙うとは言わないんだよ。でも俺たちはこのデカイアジを釣りたくて通っているんだけどね」と答えてくれた。潮が緩んでくるとアジもサイズダウン。といっても25、30センチもある良型だが、大アジが目慣れてしまうとこゝろも小さく見えてしまうものな。 「12時半になったら仕舞いますね」と早揚がり告げるアナウンス。

釣況だが、何せ潮が速くてオマツリも頻発。当然バラシも多く、ロスする時間も多。こればかりは仕方がないことだが、この潮でないと大型の食いは悪いそう。開始1時間ほどで常連さんたちはすでに10尾以上のアジを釣り上げている。ビギナーの高木さんも無事

半数くらいの方がすでにクーラー満杯状態のようだ。トップ49尾で平均30尾くらい。型がいいので35リットルのクーラーでは40尾ほどしか入らず、アジ釣りは思えないボリュームだ。これぞ至高の大アジ。脂が乗った身は刺身、たたきで悶絶。フライにすればフワフワ食感に思わず目を見開く。あたりがとうとう！と叫びたくなるほどのうまさですよ。



▲大アジはタモで取り込む

●船宿information

東京湾奥小柴

はやぶさ丸

☎045-781-0250 (詳細は巻末の情報欄参照)

▶料金=ショートアジ乗合一人8500円(アカタン、コマセ、氷付き)、アオイソメ400円

▶備考=7時出船。駐車場510円

小山 泰弘 船長

釣況だが、何せ潮が速くてオマツリも頻発。当然バラシも多く、ロスする時間も多。こればかりは仕方がないことだが、この潮でないと大型の食いは悪いそう。開始1時間ほどで常連さんたちはすでに10尾以上のアジを釣り上げている。ビギナーの高木さんも無事

釣況だが、何せ潮が速くてオマツリも頻発。当然バラシも多く、ロスする時間も多。こればかりは仕方がないことだが、この潮でないと大型の食いは悪いそう。開始1時間ほどで常連さんたちはすでに10尾以上のアジを釣り上げている。ビギナーの高木さんも無事

釣況だが、何せ潮が速くてオマツリも頻発。当然バラシも多く、ロスする時間も多。こればかりは仕方がないことだが、この潮でないと大型の食いは悪いそう。開始1時間ほどで常連さんたちはすでに10尾以上のアジを釣り上げている。ビギナーの高木さんも無事



▲40センチオーバーの大アジも釣れる



▲35〜40センチ級が中心

海堡周りで大アジ乱舞 釣趣も食味も文句なし!

●東京湾奥小柴発↓第二海堡周りで大アジ乱舞

本誌ABC(東京) 椎名義徳 Yoshinori Shimizu

釣況だが、何せ潮が速くてオマツリも頻発。当然バラシも多く、ロスする時間も多。こればかりは仕方がないことだが、この潮でないと大型の食いは悪いそう。開始1時間ほどで常連さんたちはすでに10尾以上のアジを釣り上げている。ビギナーの高木さんも無事

知得! Tips and Tricks

特エサは肝!!

マタイを釣り上げた山田さんに使ったエサをお聞きすると、ミンチの中に交じっているイワシの肝で、マタイやクロダイはもちろん、食い渋りのときのアジにも効果抜群とのこと。コマセの中に肝を見つけたら、取り出してこそというときに使ってみよう。

▲イワシの肝で1キロ級のマタイを釣り上げた



●しいな よしのり/3歳になった孫1号を潮干狩りに連れて行った。すぐに飽きられるかと思いきや、夢中になって砂掘りと貝(殻)拾い。さて沖釣りはいつデビューさせようかな。